

ビジネス写真印刷機 GP-1100

ユーザーズガイド

機能・操作方法など、本製品を使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。 また、各種トラブルの対処方法を説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。



本文中のマークについて

本書では、次のマークを用いて重要な事項を記載しています。

注意

ご使用上、必ずお守りいただきたいことを記載しています。この表示を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

商標

- EPSON および EXCEED YOUR VISION はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- その他の製品名および会社名は各社の商標または登録商標です。

マニュアル構成

本製品には、次の説明書が用意されています。

安全にお使いいただくために	本製品を安全にお使いいただくための重要な事項を記載しています。はじめにお読みください。
セットアップガイド	本製品を梱包箱から取り出して、設置、使用できるようにするまでの作業について説明して います。
ユーザーズガイド(本書)	本製品とアプリケーションの操作方法、メンテナンスに関する情報、トラブルの解決法につ いて説明しています。

もくじ

製品概要	4
■特長	

各部の名称と基本操作	5
■各部の名称と働き	5
■電源のオン / オフ	8
電源のオン 電源のオフ	8 8
■タッチパネルの操作	9

用紙について	10
■印刷できる用紙	10
■用紙のセット	10
プッシュトラクターへの用紙のセット 用紙の排紙	10 14

アプリケーションの使い方16

■アプリケーションについて	16
■初期画面	17
■状態表示	18
■画像の読み込み	19
■写真印刷	
トリミング 色補正	22
■インデックス印刷	27
■管理メニュー	
管理メニューの表示 設定概要	29 30

トラブルシューティング32

■困ったときは	
電源オン / オフのトラブル	32
画面操作のトラブル	
暗証番号のトラブル	
異常音が鳴って突然停止した	33
印刷品質がよくない	

印刷結果が画面表示と異なる	
紙送りがうまくいかない	
排紙が正しくできない	34
画像を認識しない	34
その他のトラブル	35
■用紙が詰まったときは	

■インクカートリッジの交換	
エプソン純正インクカートリッジ	
インクカートリッシの処分インク残量の確認方法	
取り扱い上のご注意	
インクカートリッジの交換方法	
■ノズルチェック	
■ヘッドクリーニンク	
■清掃	
外装面の清掃 紙端カバーの清掃	43 44
■運搬	

製品情報	46
■製品仕様	46
基本仕様 用紙仕様 印刷領域	46 48 49
■対応メディア	49
SD メモリーカードスロット USB コネクター	49 50

	サービス	・サポー	トのご案内	51
--	------	------	-------	----

■本製品に関するお問い合わせ先......53

製品概要

特長

GP-1100の主な特長は以下の通りです。

- 写真画質
 連続写真用紙と6色染料インクにより以下を実現
 ①広い色再現範囲
 ②高い色再現性
 ③高解像感
 ④なめらかな階調表現
- 用途に適した画像補正
 高度な画像判定により撮影シーンに応じた画像補正を実現
 暗部の再現性を向上させる暗部補正を実現
- 軽快かつ簡単な使い勝手
 見やすく操作しやすい12インチ大画面タッチパネル
 連続写真用紙により紛失リスク低減、容易な写真管理を実現
 連続写真用紙(糊つき)により写真を貼る作業時間を大幅削減
 画像の付加情報の印刷(サイドプリント機能)を実現
 わかりやすい画面デザインによる簡単写真印刷機能
- 高信頼性
 定期交換部品なしで10万枚印刷可能な耐久性を実現

各部の名称と基本操作

各部の名称と働き

前面



1 上面カバー

紙詰まりを除去するときや清掃時に開けます。

2 タッチパネル

メニューやメッセージが表示されます。画面にタッチして本製品を操作します。

3 インクカートリッジカバー A

シアン/マゼンタ/イエローのインクカートリッジを取り付け・交換するときに開けます。

4 インクカートリッジカバー B

ブラック / ライトシアン / ライトマゼンタのインクカートリッジを取り付け・交換するときに開けます。

5 排紙トレイ

印刷された用紙を保持します。

6 スタンド

紙詰まりの防止や印刷品質を確保するために、必ず本体をスタンドに載せてお使いください。スタンドに載せずに使用すると、 安定した給紙が行えず、バンディング(水平方向の帯状の模様や色ムラ、スジ)や紙詰まりが発生する場合があります。 未開封のインクカートリッジや用紙などを収納することができます。

7 排紙スタッカー

印刷した用紙の汚れや傷が気になる場合にお使いください。排紙スタッカーには、印刷した用紙を 300 枚まで一時的にため ておくことができます。

8 電源ランプ

電源がオンのときは緑色に点灯します。オフのときは消灯します。

9	電源ボタン
	本製品の電源をオン / オフします。
10	USB コネクター
	印刷する画像データが入った外部記憶装置やカードリーダーを接続します。
11	SD メモリーカードスロット

印刷する画像データが入った SD メモリーカードを挿入します。

背面



1	ACインレット
	電源コードを接続します。
2	用紙カバー

用紙へのホコリの付着を防ぎます。印刷品質を確保するために、用紙セット後は必ず取り付けてください。

<用紙カバーを取り外した状態>



1	用紙トレイ
---	-------

給紙する用紙を置きます。

2	用紙センサー

正常に給紙したかどうかを検知するためのセンサーです。

3 スプロケット A*

用紙を固定します。位置は固定です。

4 スプロケット B*

用紙を固定します。用紙がたるまない位置に動かして固定します。

5 センターサポート*

用紙を給紙するときに使用する用紙ガイドです。

* プッシュトラクターユニットの一部です。

電源のオン / オフ



本製品に同梱の『安全にお使いいただくために』をお読みいただき、正しく取り扱ってください。

電源のオン

電源ボタンを押します。



電源ランプが点灯して電源がオンになり、アプリケーションのメインメニュー画面が表示されます。

電源のオフ

	電源のオフは、アプリケーションがメインメニュー画面の状態で行ってください。		
注意	<メインメニュー画面>		
	1 サービス ボド) 2 テンプレード波沢) 3 写亮波家)4 印刷		
	メディアを正しく挿入し、ご希望のプリントサービスにタッチしてください。		
	写真 インデックス メティアを認識していません		
	Caution メディアを挿入するとメディア内のデータを読み込みます。 メディアを挿入するとメディア内のデータを読み込みます。 メディアを取り出す前にメディア取り出しボタンを押してください。 データ読み込み中にメディアを取り出すとメディア内のデータが破損する場合があります。 メディア取り出し可能メッセージが表示されるまで、絶対にメディアを取り出さないで下さい。 万が一データが破損した場合、責任は負いかねますのでご了承ください。		
	メディア ¹ 取り出し ユーティリティー		

電源ボタンを押します。



数秒後に電源ランプが消灯して、電源がオフになります。

タッチパネルの操作

写真の印刷や各種設定変更、メンテナンスなど、本製品の操作はタッチパネルで行います。 画面に表示されるボタンに指で軽くタッチ(() して操作します。



タッチパネルを強く押したり、こすったりしないでください。また、先のとがった物で押したりしないでく ださい。

タッチパネルの角度は、操作しやすいように調整できます。



用紙について

印刷できる用紙

最適な印刷結果を得るためには、以下の用紙をお使いください。

以下の用紙以外を使用すると、印刷品質に悪影響が出たり紙詰まりの原因となることがあります。

名称	型番
連続写真用紙(シールタイプ)	GP11LBL
連続写真用紙	GP11STD



用紙のセット

用紙はプッシュトラクターから給紙します。







7 スプロケット A とスプロケット B のスプロケットカバーを閉じます。



8 用紙がたるまないように、スプロケット B の位置を調整し、固定レバーを下げてロックします。



9 本体の切り欠きに合わせて用紙カバーを取り付けます。



10 電源がオンになっていることを確認します。
 11 印刷データを受信すると、印刷を開始します。 印刷方法は以下を参照してください。 → 本書 20 ページ「写真印刷」 → 本書 27 ページ「インデックス印刷」
注意 印刷中は用紙に触れないでください。触れると印刷結果に悪影響を及ぼします。
12 印刷完了後は印刷した用紙を切り離します。 → 本書 14 ページ「用紙の排紙」
 ・ 印刷終了後は印刷した用紙を切り離してから電源をオフにしてください。用紙を切り離さずに電源を再投入すると、エラーとなります。 ・ 用紙が本体内に給紙された状態で、トラクターから用紙を外して引き抜かないでください。印刷開始位置がすれたり本体内に用紙が詰まるなどの動作不良や故障の原因となります。 ・ 用紙の両端がたるみなくまっすぐに給紙されていることを確認してください。 ・ 印刷中に用紙を引っぱったり切り離したりしないでください。印刷に悪影響を及ぼします。 ・ 印刷終了時に用紙の残り枚数が3枚以下になると、用紙は自動排出されます。 ・ 用紙の最終ページの印刷品質が低下する場合があります。 ・ 用紙は連続2枚以上の長さでセットしてください。1枚でのセットはできません。 ・ 台紙への印刷はできません。

角紙の排紙



印刷終了後、自動的に用紙カット位置まで用紙が送り出されます。用紙を押さえながら、ミシン目の位置 で印刷した用紙を切り離します。





2 次の印刷を行うと、用紙が印刷開始位置まで自動的に戻って印刷が始まります。

用紙の取り外し

注意

用紙を取り外すには、以下の手順を行います。

1

印刷終了後、自動的に用紙カット位置まで用紙が送り出されます。ミシン目の位置で用紙をすべて切り離します。

- 2 [給紙 / 排紙] にタッチして用紙をプッシュトラクター位置まで戻します。
- 3 用紙カバーを取り外します。
- 4 スプロケットAとスプロケットBのカバーを開けて用紙をトラクターから外します。その後、スプロケットAとスプロケットBのスプロケットカバーを閉じます。

本製品を使用しないときは、用紙を取り外してください。

排紙スタッカーの取り付け

印刷した用紙の傷や汚れが気になる場合は、排紙スタッカーを取り付けてください。 排紙スタッカーには、印刷した用紙を300枚まで一時的にためておくことができます。 印刷した用紙は排紙スタッカーに長時間放置せずに、印刷終了後は排紙スタッカーから用紙を取り出してください。



排紙スタッカーを組み立てます。

2 排紙スタッカーから固定用テープの片側を外して剥離紙を剥がし、スタンドの刻印に合わせて貼り付けま す。

3 排紙スタッカーの固定用テープ位置を合わせて固定します。



アプリケーションの使い方

アプリケーションについて

本製品は、画像を読み込んで印刷するためのアプリケーションを搭載しています。電源をオンにすると、アプリケーションが起動します。

アプリケーションでは以下のことができます。

- ・状態表示
 GP-1100の状態やインクカートリッジの残量を確認できます。
 → 本書 18 ページ「状態表示」
- 画像の読み込み
 SD メモリーカードスロットまたは USB コネクター経由で画像を読み込みます。
 ◆ 本書 19 ページ「画像の読み込み」
- 写真印刷
 読み込んだ画像を選択して印刷します。
- → 本書 20 ページ「写真印刷」
 インデックス印刷
 読み込んだ画像をインデックス印刷します。
 - → 本書 27 ページ「インデックス印刷」
- ノズルチェック印刷 プリントヘッドのノズルの状態を確認するためのチェックパターンを印刷します。
 → 本書 41 ページ「ノズルチェック」
- ヘッドクリーニング プリントヘッドのクリーニングを行います。
 → 本書 42 ページ「ヘッドクリーニング」
- ・設定変更
 印刷設定やシステム設定などの変更、印刷履歴やメンテナンス情報の確認などができます。
 ◆ 本書 29 ページ「管理メニュー」

初期画面



本製品の電源をオンにすると、以下の画面が表示されます。ボタンに指で軽くタッチ(() して操作してください。

1	写真	読み込んだ画像を印刷します。 → 本書 20 ページ「写真印刷」
2	インデックス	読み込んだ画像をインデックス印刷します。 → 本書 27 ページ「インデックス印刷」
3	メディアを認識していま せん	メディアを挿入し認識されると「メディアを認識しました」と表示します。この表示を確 認してから、[写真] または [インデックス] にタッチしてください。
4	Caution	この領域に表示される注意事項に従ってください。
5	メディア取り出し	メディアを取り出したいときにタッチします。「メディアを取り出してから [OK] にタッ チしてください。」と表示されてから、メディアを取り出してください。
6	ユーティリティー	ノズルチェックとヘッドクリーニングを行います。 → 本書 41 ページ「ノズルチェック」 → 本書 42 ページ「ヘッドクリーニング」
7	状態表示	GP-1100の状態やインクカートリッジの残量を確認します。 ◆ 本書 18 ページ「状態表示」

状態表示

画面右下の [状態表示] にタッチすると、本製品の状態やインクカートリッジの残量を確認できます。



1)	状態	本製品の状態を表示します。
2	インク残量	各色のインク残量を表示します。
3	給紙 / 排紙	用紙の給紙、排紙を行います。 印刷終了後、印刷した用紙を切り離し [給紙 / 排紙] にタッチすると、用紙はプッシュト ラクター位置まで戻ります。 用紙エラーなどで、印刷途中で用紙をセットしなおしたときは、[給紙 / 排紙] にタッチ して給紙します。
4	閉じる	[状態表示]画面を閉じます。

画像の読み込み

SD メモリーカードスロットまたは USB コネクター経由でメディア内の画像を読み込みます。

読み込み可能な画像

	JPEG	拡張子:*.jpg / *.jpe / *.jpeg
種類	TIFF	拡張子:*.tif / *.tiff
	BMP	拡張子:*.bmp
+ 17	短辺	80 pixcel以上
91.2	長辺	10000 pixcel以下
枚数	最大 2000 枚	
フォルダー数	ォルダー数 最大 300 フォルダー(インデックス印刷時)	

参考	 USB コネクターは外部記憶装置 / カードリーダー接続用です。 接続できる外部記憶装置については以下を参照してください。 → 本書 50 ページ「USB コネクター」 デジタルカメラ本体のUSB接続は、USBマスストレージクラス対応のデジタルカメラのみ可能です。また、 PictBridge、DPOF には対応していません。 SD メモリーカードスロットには SD メモリーカード以外は差し込まないでください。 本製品の対応メディアについては以下を参照してください。 本書 49 ページ「対応メディア」 SD メモリーカードスロットと USB コネクターに同時にメディアを接続しないでください。また、USB コ ネクターにカードリーダーを接続した場合は、複数メディアを同時に挿入しないでください。GP-1100 は複数メディアが接続された場合、最初に認識したメディアの画像のみを読み込みます。 メディア挿入後、再起動を促すメッセージが表示された場合は、本製品の電源をオフにして、再度電源を オンにしてください。 メディア挿入後、メディアが認識されない場合は、メディアを挿入しなおしてください。それでも認識さ れない場合は、本製品の電源をオフにして、再度電源をオンにしてください。 画像のファイル名やフォルダー名に2バイト文字が使用されていると、その文字はサイドプリントで印刷さ れません。
注意	 メディア内のデータは、必要に応じてほかのメディアにバックアップしてください。次のような場合、データが消失または破損する可能性があります。 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき 説った使い方をしたとき 故障や修理のとき 天災による被害を受けたとき メモリーカードの差し込む向きを間違えたり、裏面を上にしたりして差し込むと、本製品やメモリーカードを破損するおそれがあります。 接続したメディアは、画面上で指示があるまで抜き取らないでください。 メディアを挿入後、別のメディアに変更する場合は、[メディア取り出し] にタッチし、画面の指示に従って抜き取ってください。 本製品にデジタルカメラを USB 接続するときは、途中で電源が切れないように十分に残量のあるバッテリーをお使いください。

1 メインメニュー画面が表示されていることを確認し、メディアを挿入します。

- SD メモリーカードを SD メモリーカードスロットに差し込みます。
- 外部記憶装置やカードリーダーを USB コネクターに接続します。



2 「メディアを認識しました」と表示されたら、画像の読み込みが可能です。

- [写真] または [インデックス印刷] にタッチすると、画像の一覧を表示します。
- → 本書 20ページ 「写真印刷」
- → 本書 27 ページ「インデックス印刷」

写真印刷

読み込んだ画像を選択して印刷します。選択した画像のトリミングや色補正の設定変更もできます。

1 メディアを → 本書 19/	#挿入し、「メディアを認識しました」と表示されたら【写真】にタッチします。 ページ「画像の読み込み」
参考	 本製品の対応メディアについては以下を参照してください。 →本書 49 ページ「対応メディア」 利用部門選択が有効になっている場合は、[写真] にタッチすると [利用部門選択] 画面が表示されます。 利用部門選択の設定については以下を参照してください。 →本書 30 ページ「設定概要」 利用者暗証番号を設定している場合は、[写真] にタッチすると [パスワード] 入力画面が表示されます。 利用者暗証番号の設定については以下を参照してください。 →本書 30 ページ「設定概要」
2 [フォルダ-	ー一覧] 画面で印刷する画像が入ったフォルダーを選択して、[次へ] にタッチします。
参考	 フォルダーが分かれていない場合は、[フォルダー一覧]画面は表示されません。手順 3 へ進みます。 管理メニューでフォルダー選択が無効になっている場合は、[フォルダー一覧]画面は表示されません。手順 3 へ進みます。 フォルダー選択の設定については以下を参照してください。 →本書 30 ページ「設定概要」



1	+ / -	[+] または [-] にタッチして選択した画像の印刷枚数を指定します。0 から 99 枚ま で指定できます。
2	•	前の画像を表示します。
3	•	次の画像を表示します。
4	I	先頭の画像を表示します。
5	H	最後の画像を表示します。
6	プレビュー	選択した画像のプレビューを画面全体に表示します。色補正をした場合は補正後の画像、 トリミングをした場合はトリミング後の画像をプレビューします。 プレビュー画面下部の [◀] または [▶] にタッチすると、前後の画像のプレビューを表示 します。 プレビュー画像にタッチすると、[写真選択] 画面に戻ります。
7	トリミング	選択した画像の印刷範囲を設定します。 トリミング機能を無効に設定した場合は表示されません。 → 本書 22 ページ「トリミング」
8	色補正	選択した画像の色や明るさ、コントラストなどの設定を変更します。 管理メニューの [画像補正の初期設定]の設定内容から変更したい場合にタッチします。 → 本書 23 ページ 「色補正」
9	リスト表示	メディア内の画像をリスト表示(8 行 4 列表示)します。 再度タッチしてチェックを外すと、2 行 4 列の表示に戻ります。
10	全画像	メディア内のすべての画像を同じ枚数印刷したいときに、[+] または [-] にタッチし て印刷枚数を指定します。
1)	状態表示	本製品の状態やインク残量を確認できます。 → 本書 18 ページ 「状態表示」

印刷する画像を選択して、[+]または [-] にタッチして印刷枚数を指定し、[次へ] にタッチします。

3



トリミング

印刷する画像の印刷範囲を設定します。



[写真選択] 画面で画像を選択し、[トリミング] にタッチします。



トリミング機能を無効に設定した場合は [トリミング] は表示されません。 トリミング機能の設定については以下を参照してください。 → 本書 30 ページ「設定概要」

2 プレビュー画面で確認しながら印刷範囲を設定し、[OK] にタッチします。



1	プレビュー	設定結果を表示します。緑色の枠が切り取る範囲です。
2	サイズ	切り取る範囲の拡大 / 縮小率を表示します。
3	+ / -	切り取る範囲を拡大 / 縮小します。
4	移動	切り取る範囲を上下左右に移動させます。
5	回転	切り取る範囲を回転させて、縦長 / 横長を指定します。
6	リセット	設定前の状態に戻します。
7	キャンセル	トリミング設定をキャンセルし、[写真選択]画面に戻ります。
8	ОК	トリミング設定を確定して、[写真選択]画面に戻ります。



包補正

選択した画像の色調設定を変更します。

管理メニューの [画像補正の初期設定] で [自動補正する] を選択している場合は、すべての画像に自動補正が適用 されます。個別の画像の設定を変更したい場合に色補正機能を使います。

管理メニューの [画像補正の初期設定] で [自動補正しない] を選択している場合は、色合いを調整したい画像に対して色補正を行います。

画像補正の初期設定については、以下を参照してください。

◆ 本書 30 ページ「設定概要」

[写真選択] 画面で画像を選択し、[色補正] にタッチします。



自動補正

3

(4)

(5)

自動補正

ΟK

キャンセル



チェックをつけると自動補正が適用され、チェックを外すと自動補正が解除されます。

自動補正設定をキャンセルし、〔色補正選択〕画面に戻ります。

自動補正設定を確定して適用し、「色補正選択」画面に戻ります。

選択した画像に対し、自動補正の適用 / 解除の設定変更を行います。

手動補正

選択した画像に対し、手動で色調補正の設定変更を行います。



1	補正前	補正前の画像を表示します。
2	補正後	補正設定変更後の画像を表示します。
3	С	シアンの濃さを -10 から 10 までの 21 段階で調整します。
4	Μ	マゼンタの濃さを -10 から 10 までの 21 段階で調整します。
5	Y	イエローの濃さを -10 から 10 までの 21 段階で調整します。
6	明るさ	全体の明るさを -10 から 10 までの 21 段階で調整します。
0	コントラスト	色の濃淡を -10 から 10 までの 21 段階で調整します。
8	彩度	色の鮮やかさを -10 から 10 までの 21 段階で調整します。
9	暗部補正	暗部の明るさを0から4までの5段階で調整します。
10	リセット	設定した補正値をすべて初期値に戻します。 画像補正の初期設定については、以下を参照してください。 → 本書 30 ページ「設定概要」
1)	キャンセル	手動補正設定をキャンセルし、[色補正選択]画面に戻ります。
12	一括適用	手動補正設定を確定し、フォルダ内の画像すべてに適用して、[色補正選択] 画面に戻り ます。
(13)	個別適用	手動補正設定を確定し、選択した画像に適用して、[色補正選択]画面に戻ります。

インデックス印刷

読み込んだメディア内または選択したフォルダー内のすべての画像をインデックス印刷します。

- 報なし)によって、24種類のテンプレートを用意しています。
 - 1回のインデックス印刷で印刷できるページ数は 300 ページまでです。



1		前のテンプレートを表示します。
2		次のテンプレートを表示します。
3	Ι	先頭のテンプレートを表示します。
4	H	最後のテンプレートを表示します。
5	プレビュー	選択したテンプレートのプレビューを画面全体に表示します。プレビュー画面にタッチす ると、[テンプレート選択]画面に戻ります。
6	状態表示	本製品の状態やインク残量を確認できます。 ◆ 本書 18 ページ 「状態表示」

3 [フォルダー一覧] 画面でインデックス印刷するフォルダーを選択して、[次へ] にタッチします。 選択したフォルダー内のすべての画像がインデックス印刷されます。

参考	 ・複数のフォルダーを選択した場合は、フォルダーごとに改ページして印刷します。 ・フォルダーが分かれていない場合は、[フォルダー一覧] 画面は表示されません。手順 ④ へ進みます。メディア内のすべての画像を印刷します。 ・管理メニューでフォルダー選択が無効になっている場合は、[フォルダー一覧] 画面は表示されません。手順 ④ へ進みます。メディア内のすべての画像を、フォルダーごとに改ページして印刷します。フォルダー選択の設定については以下を参照してください。 ◆本書 30 ページ「設定概要」

4	印刷内容を確認して、[印刷]にタッチします。	
	印刷数量を変更する場合は、[+]または [-] にタッチして指定します。	1 から 99 セットまで設定できます
	[印刷してもよろしいですか?] が表示されます。[OK] にタッチすると、	印刷を開始します。



・印刷中は用紙に触れないでください。触れると印刷結果に悪影響を及ぼします。
 ・印刷中は上面カバーやインクカートリッジカバーを開けないでください。

中は上面カバーやインシカートリッシカバーを用けないとくたさい。

.

管理メニュー

印刷設定やシステム設定など、本製品の設定変更、印刷履歴やメンテナンス情報の確認などができます。



設定概要

各項目の概要は以下のとおりです。

メニュー	項目	説明
印刷設定	画像補正の初期設定	[自動補正する] [自動補正しない] を選択します。 自動補正する場合は、暗部補正段階を設定します。 自動補正しない場合は、手動補正の初期値を設定することもできます。
	サイドプリント設定	 [サイドプリントを行う]を選択すると、サイドプリント領域に指定した内容を印刷します。印刷内容は行ごとに設定できます。 2バイト文字の印刷はできません。フォルダー名やファイル名には2バイト文字を使用しないでください。 [印刷日]はメインメニュー画面で[写真]を選択した時点の日付です。日付に続くかっこ内の数字は、その日の何枚目の印刷かを表します。 [補正情報]で印刷される項目は以下のとおりです。 C:色調補正(シアン) M:色調補正(マゼンタ) Y:色調補正(イエロー) D:暗部補正 B:明るさ補正 Co:コントラスト補正 S:彩度補正 %:トリミング倍率 N:画像回転なし R:画像回転あり A:自動補正 M:手動補正
	フチ設定	写真印刷時の[フチなし][フチあり]を選択します。 フチありの場合、[全面印刷する]を選択すると、記録された画像の全 面を印刷します。チェックを外すと画像の一部を切り落として印刷す ることがあります。
	トリミング機能	無効にする場合は [トリミング機能を無効にする] にチェックします。 無効にすると [写真選択] 画面に [トリミング] が表示されません。
	インデックス選択	インデックス印刷のテンプレートの初期値を選択します。 [写真印刷後にインデックス印刷を実行]は、初期値に設定したテンプ レートで印刷します。
システム設定	読み込み画像表示順	読み込んだ画像の表示順を設定します。
	フォルダー選択	[フォルダー選択を有効にする]を選択すると、メディア内のフォル ダーが分かれている場合に[フォルダー一覧]画面を表示します。 チェックを外すと[フォルダー一覧]画面が表示されません。
	写真印刷枚数の初期値	写真印刷の印刷枚数の初期値を0枚または1枚に設定します。
	省電力設定	 ・ 画面の電源を切る: 省電力モードへの移行時間を1分から1時間の間で設定できます。
	音の設定	音量:各種通知音の音量を16段階から設定します。 操作音、エラー通知音、印刷完了通知音を鳴らす / 鳴らさないを選択 できます。 [試聴] にタッチすると、各通知音の試聴ができます。
利用部門設定	利用部門選択を行う	利用部門選択の有効 / 無効を設定します。 チェックをつけておくと、画像読み込み時に [利用部門選択] 画面が 表示されます。 利用部門名は、アルファベットの A から Z と「-」の 27 種類を設定 できます。

メニュー	項目	説明	
機器調整	ギャップ調整	 紙送り調整: 画像が二重になったり、紙送り方向に隙間が空く場合は、調整パターンを印刷して、紙送り量を調整します。 双方向印刷調整:	
	印刷位置調整	印刷位置が合わないときは、調整パターンを印刷して、枠を上下左右 に移動して調整します。	
印刷履歴の表示	サービス名(ジョブ)/ 部門 / 月 / 日ごとの印刷履歴を表示します。 印刷履歴の保存期間は、前年度当月から今年度当月までの 13ヵ月間です。		
印刷履歴の印刷	期間を設定して、期間/部門ごとの印刷履歴を印刷します。 設定可能期間は、前年度当月から今年度当月までの13ヵ月間です。		
日時設定	本製品の日付と時刻を設定します。		
メンテナンス情報	印刷枚数やメンテナンスに関する情報を表示します。		
利用者暗証番号設定	 [写真印刷、インデックス印刷をする場合に利用者暗証番号の入力を求める]にチェックして、4 桁の 暗証番号を設定できます。 設定した場合、[写真]、[インデックス]の操作に暗証番号の入力が必要です。 注意 暗証番号は適切に管理して忘れないでください。暗証番号がわからないと、新しい暗証 番号が設定できず、使用できなくなります。 		
バージョン表示	アプリケーション、ファームウェア、印刷用ドライバーの情報を表示します。		

トラブルシューティング

困ったときは

参考

• エラーが発生すると、画面にメッセージが表示されます。メッセージに従っ て対処してください。

- 処置した後もエラーが続くときは、お買い求めいただいた販売店またはエプソンインフォメーションセン ターへお問い合わせください。エプソンインフォメーションセンターの問い合わせ先は以下を参照してくだ さい。
 - ➡ 本書 53 ページ 「本製品に関するお問い合わせ先」

電源オン / オフのトラブル

電源が入らない

- 電源ボタンを少し長めに押してください。
- 電源プラグがコンセントから抜けていませんか?
 電源プラグの差し込みが浅かったり、斜めに差し込まれたりしていないかを確認して、しっかりコンセントに差し込んでください。
- テーブルタップなどを使用していませんか?
 電源プラグは直接壁のコンセントに差し込んでください。
- 電源コンセントに問題はありませんか?
 ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確認してください。

初期画面が表示されない

- 電源は入っている(電源ランプは点灯している)のに、初期画面(メインメニュー画面)が表示されない場合は、 次の処置を行ってください。
 - 1. 電源プラグをコンセントから抜き、10 秒待ちます。
 - 2. 電源プラグをコンセントに差し、電源をオンにします。

電源が切れない

 電源プラグをコンセントから抜いてください。
 その後、もう一度電源を入れて、必ず電源ボタンで電源をオフにしてください。そのまま放置すると、プリント ヘッドが乾燥して目詰まりする可能性があります。

画面操作のトラブル

タッチパネルを触っても反応がない

- 画面に表示されるメニューやボタンにタッチしても1分以上本製品が反応しない場合は、次の処置を行ってください。
 - 1. 電源プラグをコンセントから抜き、10秒待ちます。
 - 2. 電源プラグをコンセントに差し、電源をオンにします。

, 暗証番号のトラブル

暗証番号を忘れた

- ・暗証番号がわからないと、新しい暗証番号は設定できません。
 暗証番号がわからなくなったときは、エプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。
- 暗証番号を入力せずに使うには、利用者暗証番号設定を解除してください。 利用者暗証番号設定については以下を参照してください。
 - → 本書 30 ページ「設定概要」

異常音が鳴って突然停止した

用紙が詰まっていませんか?
 電源をオフにして、用紙を取り除いてください。それでも解消しないときは、電源をオフにして数分放置後、再度
 電源をオンにしてください。

印刷品質がよくない

- プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか?
 プリントヘッドをクリーニングしてください。
 - ◆本書 42 ページ 「ヘッドクリーニング」
- 古くなったインクカートリッジを使用していませんか?
 古くなったインクカートリッジを使用すると印刷品質が低下します。開封後は 6ヵ月以内に使い切ってください。
 未開封のインクカートリッジの推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱をご覧ください。

印刷結果が画面表示と異なる

画像がぼやけたり線がずれる

- プリントヘッドのギャップがずれていませんか?
 ギャップ調整を行ってください。
 ギャップ調整については以下を参照してください。
 - → 本書 30 ページ「設定概要」

印刷位置がずれる

用紙に対して印刷位置がずれることがあります。
 調整パターンを印刷して、印刷位置を調整してください。
 印刷位置調整については以下を参照してください。
 → 本書 30 ページ「設定概要」

紙送りがうまくいかない

- 用紙がプッシュトラクターから外れていませんか?
 用紙をプッシュトラクターに正しくセットし直してください。
 →本書10ページ「プッシュトラクターへの用紙のセット」
- 本体をスタンドに載せていますか?
 用紙をスムーズに給紙するために、本体は必ずスタンドに載せて使用してください。
- 用紙の置き場所に問題はありませんか?
 スタンドの用紙トレイに置いてください。
- スプロケットのピン位置と用紙の穴の位置が合っていますか?
 スプロケット A/ スプロケット B のピン位置と用紙の穴の位置が合っていることを確認してください。スプロケット B がしっかりと固定され、スプロケット A/ スプロケット B のスプロケットカバーが閉まっていることを確認してください。
- 弊社推奨の連続写真用紙を使用していますか?
 推奨の用紙(型番:GP11LBL/GP11STD)を使用することをお勧めします。それ以外の用紙を使用すると、印刷品質に悪影響が出たり紙詰まりの原因となることがあります。
 - ◆ 本書 10 ページ 「印刷できる用紙」
 - → 本書 48 ページ「用紙仕様」

, 排紙が正しくできない

- 弊社推奨の連続写真用紙を使用していますか?
 推奨の用紙(型番:GP11LBL/GP11STD)を使用することをお勧めします。それ以外の用紙を使用すると、印刷品質に悪影響が出たり紙詰まりの原因となることがあります。
 → 本書 10 ページ「印刷できる用紙」
 - → 本書 48 ページ「印刷 C きる用料

画像を認識しない

- SD メモリーカードスロットと USB コネクターの両方にメディアを接続していませんか?
 あるいは、USB コネクターに接続したカードリーダーに複数メディアを挿入していませんか?
 本製品は複数メディアが接続された場合、最初に認識したメディアの画像のみを読み込みます。メディアを挿入しなおしてください。
- メディアを接続してから認識されるまでに時間がかかることがあります。

- メディアは確実に差し込まれていますか?
 メディアの差し込みが浅すぎたり、セットの向きが間違っていると認識されません。正しくセットされていることを確認してください。
- メディアを挿入しなおしても認識されない。
 本製品の電源をオフにして、再度電源をオンにしてください。

その他のトラブル

 モノクロ印刷のときも全色のインクが消費される。
 モノクロ画像を印刷した場合でも、印刷、およびプリントヘッドを良好な状態に保つための動作で全色のインクが 使われます。

用紙が詰まったときは

本体内部で用紙が詰まった場合は、画面の指示に従って取り除いてください。



詰まった用紙は、本製品に対してまっすぐにゆっくり引き抜いてください。無理に引き抜くと、用紙が破れ て取り除くことが困難になり、さらに別の紙詰まりを引き起こします。

メンテナンス

インクカートリッジの交換

エプソン純正インクカートリッジ

本製品の性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正品 以外のものをご使用になりますと、本体や印刷品質に悪影響が出るなど、本来の性能を発揮できない場合がありま す。純正品以外の品質や信頼性については保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障につ いては、保証期間内であっても有償修理となります。

本製品で使用可能なインクカートリッジは次の通りです。

色	製品名
シアン	GJIC7(C) C13S020571
マゼンタ	GJIC7(M) C13S020573
110-	GJIC7(Y) C13S020574
ブラック	GJIC7(K) C13S020572
ライトシアン	GJIC7(LC) C13S020575
ライトマゼンタ	GJIC7(LM) C13S020576

インクカートリッジの処分

使用済みのインクカートリッジは、以下のいずれかの方法で処分してください。

回収

エプソンは使用済み純正インクカートリッジの回収活動を通じ、地球環境保全と教育助成活動を推進しています。 便利でお得な「引取回収サービス」で回収リサイクル活動にご協力ください。 ほかにも、店頭回収ポストや郵便局での回収、学校でのベルマーク活動による回収などのサービスがあります。

回収サービスの詳細は、エプソンのホームページをご覧ください。 → http://www.epson.jp/recycle/

廃棄

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。



インクの残量が少なくなり、インクカートリッジの交換時期が近づくと、画面にメッセージが表示されます。新しい インクカートリッジを準備してください。

インクカートリッジの交換時期になると、画面にメッセージが表示され、印刷は停止します。新しいカートリッジが セットされるまで印刷できません。

取り扱い上のご注意

インクカートリッジを交換する前に、以下の内容をすべてお読みください。

- 本製品のインクカートリッジは、IC チップでインク残量などの情報を管理しているため、使用途中に取り外しても 再装着して使用できます。ただし、インクが残り少なくなったインクカートリッジを取り外すと、再装着しても使 用できないことがあります。また、再装着の際は、本製品の信頼性を確保するためにインクが消費されることがあ ります。
- 取り外したインクカートリッジはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないよう にご注意ください。
- プリントヘッドを良好な状態に保つため、印刷時以外にもインクカートリッジ交換時・ヘッドクリーニング時などのメンテナンス動作で全色のインクが消費されます。
- 交換時以外はインクカートリッジを取り外さないでください。
- インクカートリッジは、子どもの手の届かない場所に保管してください。
- インクが皮膚に付着したときは、すぐに水や石けんで洗い流してください。目に入ったときはすぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症をおこすおそれがあります。異常がある場合は、速やかに医師にで相談ください。口に入ったときは、すぐに吐き出し、速やかに医師に相談してください。
- 本製品の性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクカートリッジを使用することをお勧めします。純正 品以外のものをご使用になりますと、本体や印刷品質に悪影響が出るなど、本来の性能を発揮できない場合があり ます。純正品以外の品質や信頼性については保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障 については、保証期間内であっても有償修理となります。
- インクカートリッジの袋は、本体に取り付ける直前まで開封しないでください。
- 古くなったインクカートリッジを使用すると印刷品質が低下します。開封後は 6ヵ月以内に使い切ってください。 未開封の推奨使用期限は、インクカートリッジの個装箱をご覧ください。

- インクカートリッジは、全色セットしてください。全色セットしないと印刷できません。
- 充てん中は、電源をオフにしたり、インクカートリッジカバーを開けたりしないでください。カバーを開けると、 閉じたときにインクが再度充てんされ、さらにインクが消費されます。また、正常に印刷できなくなるおそれがあ ります。
- 本製品の印刷用ドライバーは純正インクカートリッジを前提に色調整されています。純正品以外を使用すると、印刷品質が低下することがあります。インクカートリッジは純正品のご使用をお勧めします。
- 本体の電源ボタンで電源をオフにするとプリントヘッドは自動的にキャップ(ふた)をされ、インクの乾燥を防ぎます。インクカートリッジ取り付け後、本製品を使用しないときは、必ず本体の電源ボタンで電源をオフにしてください。電源がオンの状態のまま、電源プラグを抜いたり、ブレーカーを切ったりしないでください。
- •本製品を保存、または輸送するときは、本製品からインクカートリッジを取り外さないでください。
- 本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクカートリッジ内に多少のインクが残ります。
- モノクロ画像を印刷した場合でも、印刷、およびプリントヘッドを良好な状態に保つための動作で全色のインクが 使われます。
- インクカートリッジを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- インクカートリッジは強く振らないでください。強く振ったり振り回したり、側面を強く押したりすると、カート リッジからインクが漏れるおそれがあります。
- インクカートリッジホルダーに異物を入れたり落としたりしないでください。印刷できなくなるおそれがあります。落としてしまったときは、インクカートリッジホルダーに傷をつけないように取り除いてください。
- 購入直後のインク初期充てんでは、プリントヘッドノズル(インクの吐出孔)の先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。そのため、初回は2回目以降に取り付けるインクカートリッジよりも印刷できる枚数が少なくなることがあります。
- インクカートリッジは冷暗所で保管することをお勧めします。
- インクカートリッジを寒い所に長時間保管していたときは、3 時間以上室温で放置してからお使いください。
- アート紙等の表面撥水処理を施した用紙に印刷すると、インク速乾性が悪く印刷汚れを起こす場合があります。また、光沢紙に印刷した場合は、印刷面に触れると指の跡が付いたりインクが指に付着することがあります。印刷汚れを起こさない用紙を選定して、ご使用ください。







6 新しいインクカートリッジをインクカートリッジホルダーに、カチッと音がするまで静かに押し込みます。







ノズルチェック

プリントヘッドのノズルが目詰まりしていると、通常とは異なる色で印刷されたりします。ノズルの状態を確認する ためにパターンを印刷し、ノズルの目詰まりを確認してください。



ヘッドクリーニング

プリントヘッドの目詰まりにより、印刷がかすれたり、通常とは異なる色で印刷される場合はヘッドのクリーニング を行ってください。

 ヘッドクリーニング時は全色のインクを消費するため、ノズルチェック機能を使いノズルの目詰まりを確認して、ノズルが目詰まりしているときだけクリーニングを行ってください。 インク残量が少ないとき、ヘッドクリーニングはできません。インクカートリッジを交換してから実行してください。交換の方法については、以下を参照してください。 → 本書 36 ページ「インクカートリッジの交換」 		
1 メインメニュー画面の [ユーティリティー] にタッチします。		
写真 インデックス メディアを認識していません		
Caution メディアを挿入するとメディア内のデータを読み込みます。 メディアを取り出す前にメディア取り出しボタンを押してください。 データ読み込み中にメディアを取り出すとメディア内のデータが破損する場合があります。 メディア取り出し可能メッセージが表示されるまで、絶対にメディアを取り出さないで下さい。 万が一データが破損した場合、責任は負いかねますのでご了承くたさい。		
メディア ⁻ 取り出し ユーティリティー		
2 [クリーニング] を選択します。		
ノズルチェック ウリーニンヴ キャンセル		
3 [開始] にタッチします。		
4 この後は、画面の指示に従って操作します。		
た意 ヘッドクリーニング中は、電源をオフにしたり、上面カバーやインクカートリッジカバーを開けたりしないで ください。電源をオンにしたりカバーを閉じるとクリーニングがやり直しになり、さらにインクが消費されま す。また、正常に印刷できなくなるおそれがあります。		

参考	 ノズルチェックとヘッドクリーニングを交互に繰り返しても目詰まりが解消されないときは、電源をオフにして6時間以上放置した後、再度ノズルチェックとヘッドクリーニングを実行してください。それでも改善されないときは、お買い求めいただいた販売店またはエプソンインフォメーションセンターへお問い合わせください。エプソンインフォメーションセンターの問い合わせ先は以下を参照してください。
	→ 本書 53 ページ 「本製品に関するお問い合わせ先」
	 ヘッドクリーニング後は、再度ノズルチェックパターンを印刷して、目詰まりが解消されたことを確認して ください。

清掃

いつでも快適にお使いいただくために、以下の方法でお手入れをしてください。

- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。本製品の表面や内部が変 質・変形するおそれがあります。
 - 本体内部に水気が入らないように注意してください。本体内部が濡れると、電気回路がショートするおそれ があります。
 - 本体内部に潤滑油を注油しないでください。故障するおそれがあります。潤滑油の補給が必要なときは、お 買い求めいただいた販売店またはエプソン修理センターへご相談ください。

外装面の清掃

- 1 画面右下の[状態表示]-[給紙 / 排紙]の順にタッチし、用紙をプッシュトラクター位置まで戻します。
- **2** 用紙カバーを取り外し、用紙を取り除きます。
- 3 電源をオフにします。
- 4 乾いた布で汚れをふきとります。汚れがひどいときは、中性洗剤を少量入れた水に布を浸し、よく絞って から汚れをふきとります。



運搬

本製品を再輸送する場合は、衝撃から守るために十分注意して梱包してください。

-	
	 注意 ・本製品からメディアを取り外したことを確認してください。 ・インクカートリッジは取り外さないでください。インクカートリッジを取り外すと、インクが漏れたり、印刷品質に影響を与える可能性があります。 ・本製品を持ち運ぶときは、本体、スタンド、用紙カバーに分離して、個別に運んでください。 ・本体を持ち上げる際は、必ず2人で持ち上げてください。図のように本体を2人で挟み、本体側面のくぼみを持って持ち上 げてください。 ・本体を持ち上げる際は、ひざを十分に曲げるなどして無理のない姿勢で作業してください。無理な姿勢で持ち上げると、作業者がけがをしたり、本体が破損する原因となります。 ・本体を移動する際は、前後左右に10度以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。
1	画面右下の [状態表示] - [給紙 / 排紙] の順にタッチし、用紙をプッシュトラクター位置まで戻します。
2	用紙カバーを取り外し、用紙を取り除きます。
3	電源をオフにして、電源コードを外します。
4	本体を2人で持ち上げてスタンドから下ろします。
5	保護テープや保護材を取り付けて、梱包箱に入れます。

▲本体は水平にして梱包箱に入れてください。



製品仕様

基本仕様

外形·質量

項目	内容
外形寸法(タッチパネル O°、用紙スタッカーは除く)	543 mm(幅)× 560 mm(奥行き)× 483 mm(高さ)
質量(インクカートリッジ、用紙、電源コード、用紙スタッ カーは除く)	約 27 kg



本製品は、メッキ鋼板を使用しているため、端面にサビが発生することがありますが、本来の機能を損なう ものではありません。

液晶ユニット

項目	内容
LCD	液晶タイプ:12.1 型カラー TFT 液晶表示色:256K 色 (約 26 万色)
タッチパネル	抵抗膜方式
チルト調整角度	0~80°
輝度調整	ソフトウェア調整方式

印刷仕様

項目	内容		
印刷方式	シリアルインクジェット方式		
印刷速度	サイドプリントなし: 約16秒/枚 サイドプリントあり: 約17秒/枚		
印刷方向	双方向印刷		
印刷可能領域	幅 130 mm、長さ 117.4 mm		
印刷解像度	写真領域:1440 × 720 dpi*サイドプリント領域:720 × 180 dpi*		
紙送り方式	プッシュトラクターフィード		

* dpi: 25.4mm あたりのドット数(dots per inch)

インクカートリッジ

項目		内容	
形態		6 色独立型インクカートリッジ	
型番		ブラック: GJIC7(K) シアン: GJIC7(C) マゼンタ: GJIC7(M) イエロー: GJIC7(Y) ライトシアン: GJIC7(LC) ライトマゼンタ: GJIC7(LM)	
推奨使用期限		個装箱に記載されている期限。開封から 6ヵ月以内	
保存温度	個装保存時	-20 ℃~ 40 ℃ (40 ℃の場合は 1ヵ月以内)	
	本体装着時	-20 ℃~ 40 ℃ (40 ℃の場合は 1ヵ月以内)	
	個装輸送時	-20 ℃~ 60 ℃ (60 ℃の場合は 5 日間以内)	
インク種		染料インク	

電気関係

項目	内容		
定格電圧	AC 100 V		
定格周波数	50 ~ 60 Hz		
定格電流	1.0 A		
消費電力	動作時	待機時	電源オフ時
	約 39 W	約 17 W	約 2.3 W

インターフェイス

項目		内容	
USB インターフェイス 仕様		USB2.0 (High/Full/Low speed) $ imes$ 2	
	電源容量	DC +5 V、各 500 mA	

SD メモリーカードスロット

項目	内容
対応メディア	SD-WORM メモリーカード SD メモリーカード SDHC メモリーカード SDXC メモリーカード

環境条件

項目		内容
温度	動作時	10 ~ 35 ℃
	保存時	-20 ~ 40 °C
湿度	動作時	20 ~ 80 %
	保存時	5~85%

製品寿命

- 下記のいずれか短い期間
- 5年(12時間/日:電源オン時間)
- 3.5 年(24 時間 / 日:電源オン時間)
- 総印刷量:100,000 枚(用紙サイズ:159 × 127 mm)

用紙仕様

参考

折りがある用紙、破れている用紙、しわのある用紙、丸まっている用紙は使用しないでください。 → 本書 10 ページ「印刷できる用紙」

項目の内容の方法である。		
型番	連続写真用紙 (シールタイプ):GP11LBL連続写真用紙:GP11STD	
ラベルサイズ	89 × 127 mm	
台紙幅	159 mm	
台紙ページ長	127 mm	
台紙用紙厚	0.11 mm	
用紙厚(台紙を含む)	0.33 mm	



対応メディア

本製品は、SD メモリーカードスロットまたは USB コネクター経由でメディア内の画像を読み込みます。

参考	 データの書き込みはできません。 SDメモリーカードスロットとUSBコネクターに同時にメディアを接続しないでください。また、USBコネクターにカードリーダーを接続した場合は、複数メディアを同時に挿入しないでください。GP-1100は複クターにカードリーダーを接続した場合は、複数メディアを同時に挿入しないでください。GP-1100は複クターにカードリーダーを接続した場合は、複数メディアを同時に挿入しないでください。GP-1100は複クターにカードリーダーを接続した場合は、複数メディアを同時に挿入しないでください。GP-1100は複クターにカードリーダーを接続した場合は、複数メディアを同時に挿入しないでください。GP-1100は複
	 数メディアが接続された場合、最初に認識したメディアの画像のみを読み込みます。 本製品で印刷可能な画像については、以下を参照してください。 ★ 本書 19 ページ「読み込み可能な画像」

SD メモリーカードスロット

SD メモリーカードスロットで読み込み可能なメディアは以下のとおりです。

メディア	最大容量
SD-WORM メモリーカード	1GB
SD メモリーカード	2GB
SDHC メモリーカード	32GB
SDXC メモリーカード	64GB

USB コネクター

- USB コネクターは外部記憶装置*/カードリーダー接続用です。
 * 使用できる外部記憶装置:HDD、USB フラッシュメモリー 以下のものを除く
 - ・専用ドライバーが必要なもの
 - · セキュリティー (パスワード · 暗号化)機能付きのもの
 - ・USB ハブ機能が内蔵されているもの USB コネクター接続時に電源供給能力を超える場合は、AC アダプターを使用してください。 すべての機器の動作を保証するものではありません。
- デジタルカメラ本体の USB 接続は、USB マスストレージクラス対応のデジタルカメラのみ可能です。また、 PictBridge、DPOF には対応していません。
 本製品にデジタルカメラを接続する際は、デジタルカメラの USB 接続設定をマスストレージクラスにしてください。
- 本製品に接続する前に動作確認をし、本製品が正常に機能することをご確認ください。

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス、サポートをご案内いたします。

インターネットサービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、インターネットによる情報の提供を行っています。また、マニュアルはエプソンのホームページ上で提供しています。

アドレス http://www.epson.jp/

エプソンインフォメーションセンター

EPSON 製品に関するさまざまなご質問やご相談に電話でお答えします。 受付時間および電話番号につきましては以下のページを参照してください。

→本書53ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

ショールーム

EPSON 製品を見て、触れて、操作できるショールームです。所在地およびオープン時間などにつきましては、以下のページを参照してください。

◆ 本書 53 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

保守サービスのご案内

「故障かな?」と思ったときは、あわてずに、まず本書の「困ったときは(トラブル対処法)」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入もれがないかご確認く ださい。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れ があった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期 間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後6年間です。 ※改良などにより、予告なしに外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付

保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンターまたはエプソン修理センター
- ➡ 本書 53 ページ「本製品に関するお問い合わせ先」

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。詳細につきましては、お買い求めの販売店、エプソンサービスコールセンターまたは エプソン修理センターまでお問い合わせください。

種類			修理代金	
文 ⁴⁴		保証期間内	保証期間外	
年間保守契約	出張保守	 製品が故障した場合、最優先でサービスエンジニアが製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 修理のつど発生する修理代・部品代*が無償になるため予算化ができ便利です。 定期点検(別途料金)で、故障を未然に防ぐことができます。 *消耗品(インク、用紙等)は保守対象外となります。 	年間一定の保守料	<u>金</u>
	持込保守	 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理をいたします。 修理のつど発生する修理代・部品代*が無償になるため予算化ができ便利です。 持込保守契約締結時に【保守契約登録票】を製品に貼付していただきます。 *消耗品(インク、用紙等)は保守対象外となります。 	年間一定の保守料	金
スポット出張		 お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所にサービスエンジニアが出向き、現地で修理を行います。 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。 	有償 (出張料のみ)	出張料+技術料 +部品代修理完 了後、そのつど お支払いくださ い。
持込 / 送付修理		故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みま たは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。	 無償 基本料+技術料 +部品代修理完 了品をお届けし たときにお支払 いください。 	
引取修理サービス (ドア to ドアサービス)		 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りにお伺いするサービスです。 保証期間外の場合は、引取料金とは別に修理代金が必要となります。 	有償 (引取料金のみ)	有償 (引取料金+修理 代)

本製品に関するお問い合わせ先

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受け できませんのでご了承ください。

また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

(関連法律)刑法第148条、第149条、第162条 通貨及証券模造取締法第1条、第2条 など以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること(見本印があっても不可)
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること次のものは、複製するにあたり注意が必要です。
- 民間発行の有価証券(株券、手形、小切手など)、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権

写真、絵画、音楽、プログラムなどの他人の著作物は、個人的にまたは家庭内その他これに準ずる限られた範囲内において使用することを目 的とする以外、著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者は 適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

電源高調波

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しております。

使用制限

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・ 安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措 置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。

本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、きわめて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認のうえ、ご判断ください。

ご注意

(1)本書の内容の一部または全部を無断転載することを固くお断りします。

(2)本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

(3)本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡 ください。

(4)運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

(5)本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第 三者により修正・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

(6)エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証 期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理などは有償で行います。